

遠州地方勤労者芸術運動協議会 規約（案）

第一条（名称） この会は、「遠州地方勤労者芸術運動協議会」（略称）労芸術協、^とい^い争ム局と、争ム局長選出団体におきます。

第二条（目的） この会は遠州地方における平和で民主的な文化、健康で民族的な文化、芸術を、創造、普及する~~こと~~老活動を一層発展させること~~を~~目的とします。

第三条（活動） この会は参加団体も、個人^の自主性を尊重しながら、次のような活動を行います。

- 1、参加諸団体も、個人^の交流や相互援助の深め、それぞれ^の分野における創造、普及の向上^を生むための努力を致します。
- 2、参加団体や個人^の共通の要求、課題について共同の実践を行い、連携を深めます。
- 3、この目的を妨げる文化、芸術活動への圧迫や、文化の反動化に反対し、思想、表現の自由を守ると共に、その保障となる平和と独立、民主主義を守るために努力します。
- 4、遠州地方における文化団体、労働組合~~と~~進歩的知識人~~との~~自由平等の交流と~~連携~~をはかります。民主団体との交流、~~連携~~をはかり、勤労者の文化的要求、芸術的要求を豊かに発展させるために努力致します。

第四条（構成） この会は前条の目的に賛同する自主的な文化、芸術団体、及び個人により構成します。

第五条（運営） この会は、代表者会議によつて運営します。
代表者会議は月一回、会代表者が招集します。
この会の決議は、すべて出席団体の全員一致により行います。

第六条（役員） この会に次の役員をおきます。
代表者 一名
争ム局長 一名
会計 一名
役員^の任期は一年とする、ただし再選は妨げません

第七条（財政） この会の運営に必要な費用は、会費金及び寄附金によつてまかれます。
年一回財政報告を行います。会費金の額は別に定めます。

第八条（この会の会則は一九六九年八月より実施致します。）

現在の参加団体

- 旭陽からつかせ 浜松市板や町315 伊藤アパート、代表者 石川守夫
浜松センター合唱団 浜松市元城町29、鈴木方 代表者 杉浦康治
浜松労美 浜松市西伊場町 中村アパート119号 代表者 炎 功たか
浜松詩人会談 浜松市鶴町2の7の3、代表者 卜部国松
日本民主文学同盟浜松支部 代表 森下厚司
リノアリスム写真楽団 代表者 丹本 浜松市下池川町6の6

遠州地方勤労者芸術運動協議会 趣旨書（案）

平和で民主的な文化、健康で民族的な芸術の創造と普及のために活動を続けて来た、遠州地方芸術運動協議会（労芸協）は、勤労者の文化的な要求、芸術的な要求をもつと盛んにし、広めていこうと、今回、趣旨を明にし、広く勤労者の皆さんに呼びかけることになりました。

文学、美術、音楽、演劇、写真、舞踊、民族芸能、民族器楽など、この地域で働きながら創造活動を続けている人、又、これから創造活動をやりたいと考えている人も多いと思います。又、この地域の民族芸能など、それを受け継ぎ育てていく上で、深いなごりがあると思います。

労芸協は、このような働く人々の、文化芸術活動を盛んにし、広めるために参加する団体や個人（の自主性を基に、交流や相互援助をおこなしながら平和で民主的な文化、健康で民族的な芸術を勤労者自身の手で発展させることを目指して、運動を広げて行きたいと考えています。

私たちがこのように考えるのは、広範な勤労者が自分自身の手で育てる文化芸術こそ、真に国の文化、芸術を豊かに発展させるものだと考えるからです。

今日の国の政治の方向は、正常な文化の交流、発展を阻害し、民主的で自主的文化運動を破壊する方向にまかうものであると考えます。

民主的な文化団体の記念集会や、演劇の研究発表会に対してまで、入場^税を強行にかけられて来ています。「うたごえ」は、取柄からしめだされ、自主的な職場サークルに対しての干渉や、圧迫、サークル活動や文化、芸術運動に参加したことを理由に、さまざまな干渉や差別など、勤労者が文化的な要求を持ち、自主的に集まること自体が危険な行動とされるようなことが、日々私たちのまわりで起っています。

一方、テレビ、ラジオなど、マスコミを使って、手のこんだ宣伝と、悪徳文化が、勤労者の日常生活の中になぜか浸透し、思想文化の上での変容体質がうたごえの出来ぬ現実となって来ています。

サークル活動を主要な形態とする、勤労者の文化、芸術運動は、このような状況のもとで、いそいそと協力し合う共同体、組織を必要としています。

私たちは、地域の広範な勤労者と共に真の国民の文化、芸術を守り発展させて行くと同時に、文化芸術の支配と統制と対しながらか、真に民族的な文化、芸術の創造と普及と、平和と民主主義の方向に発展させて行かねばならないと考えます。

やせもすればおちいりやすい、ジャンル別のセクト化を避け、運動間の相互理解と協力も強め、それそれの持つ長所を学び、弱所を克服しながら地域の努力組合せ、民主勢力と結び合いながら、積極的に活動を遂げるならば、必ず私たちの未来を明るくする豊かな文化、芸術を生み出すことが出来ることを確信します。

現在、参加団体は六団体ですが、これに教会に、多くの文化、芸術団体や個人も参加も呼びかけると共に、この地域における文化、芸術運動のセンターとして大きく育てて行きたいと思えます。